

保育総合研究会  
臨時

News

**VOL.11** 2020.10.19

発行人 保育総合研究会 会長 梶沢 幸苗  
発行元 事務局長 社会福祉法人 東明会  
飯沼こども園 理事長 東ヶ崎静仁  
〒311-3153 茨城県東茨城郡茨城町上飯沼 1276-1  
029-292-6868 Fax 029-292-3831  
E-mail iinuma-n@ans.co.jp

全国会員数 97名

今後の予定 1) 第67・68回 オンラインで定例会決定→会員限定

◆第67回定例会 日時 令和2年10月20日(火) 13:00-15:00

講師: 厚生労働省社会・援護局福祉基盤 企画調整専門官 初鹿知香氏

講演名「社会福祉連携推進法人を考える」

◆第68回定例会 日時 令和2年12月1日(火) 13:00-15:00

講師: 神戸大学・大学院准教授 北野幸子先生

講演名「評価を活用した保育の質の維持・向上」

## 報告 1) 保総研 三役会&役員 zoom 会議内容の報告

令和2年度保育総合研究会 第3回役員会 ZOOM 会議次第

日 時 令和2年10月15日(木)14:00～15:30 開催方法 ZOOM による開催

(出席者)桜沢 坂崎 森田 田和 藤井 福澤 打田 滝田 遠藤浩平 東口 筒井 松山 土山

菊地 東ヶ崎 (以上 15 名) 重要な部分は赤字とした

1. 開 会
2. 会長あいさつ

※10/12 に逝去された原本宏志先生のご冥福を祈る

3. 協議事項

(報告事項)・第 67 回講師の変更

(厚労省福祉基盤課長宇野禎晃氏⇒企画調整官初鹿氏に戻る)

・第 68 回定例会について(ZOOM 開催)

日時(12 月 1 日 13:00~15:00 開催予定)

[内容]1. 講演[テーマ]「評価を活用した保育の質の維持・向上」

[講師]神戸大学准教授 北野 幸子 氏

(・アクセスは 100 回線が限度のため、1 施設 1 回線を原則とする。・大学の事情で録音等は遠慮  
いただきたいとのこと。)

① 7 プロポジション検討委員会(11 月開催予定)

(原稿は 150 ページにのぼり、これから編集作業に移る。編集は百瀬さんに願う予定である)

(7 プロポジションは当初 20 周年記念誌に掲載予定であったが、独自の冊子とする)

② 年次大会 について

・開催時期(令和 3 年 1 月~2 月開催予定)

・開催方法(集合研修又は ZOOM、集合・ZOOM 併合開催方法について 12/24 役員会にて決定)

年次大会内容※7 プロポジション全員説明会を含む 2 時間程度

※集合・ZOOM を併せた研修を検討

⇒集合研修場所についてはコロナ感染が少なく、アクセスを考慮して仙台市ではいかがか？

・年次大会当日に役員会開催はいかがか？

・飲食についても検討必要

### ③ 令和 3 年度以降の役員改選の基本的な考え方→下記重要参照

・柗沢、坂崎、菊地、東ヶ崎の 4 者で素案、三役・事務局会議で協議、役員会での承認を得る。

・年次大会での新役員構成の発表を目標とする

今回の役員会では 20 年ぶり以上の役員改選及び部会の考え方です。今のところ、基本的には、人事案件（役員推薦）は柗沢会長一任にしたいと考えています。よって 11 月には柗沢会長から組閣に関する電話が直接本人に舞い込み、その作業の後、年明け 2 月の役員会年次大会で全容が明らかになり、来年度の総会を迎えるという事になろうかと思えます。※電話の日時決まりましたらメールで配信予定

④ 次年度に向けて

・現行 3 部会を再編成

・部会再編成に伴い、現部会の繰越金の清算も必要⇔3 部会長に東ヶ崎事務局長より説明電話をします

・役員構成、部会編成を含めた規約改正も必要

⑤ 20 周年記念誌作成について

・遠藤浩平編集長

・本年度から次年度事業へと変更、記念誌単独の冊子とする。

⑥ その他

・次回三役・事務局会議	11/18(水)13:00~14:00
-------------	---------------------

・次々回三役・事務局会議	12/24(木)13:00~13:45
--------------	---------------------

・次回役員会	12/24(木)14:00~15:00
--------	---------------------

4. 閉 会

## 報告 2) 7 プロポジション まとめの zoom 会議

第 2 委員会 日時 令和 2 年 9 月 28 日(月) 17:00-18:30

第 3 委員会 日時 令和 2 年 10 月 1 日(木) 17:00-18:30

第 1 委員会 日時 令和 2 年 10 月 5 日(月) 10:00-11:30

委員長会議 日時 令和 2 年 10 月 8 日(木) 10:00-12:00

※本当に頑張りましたね 感謝いたします

## 今後の予定 2) 7 プロポジション zoom 検討会議

検討委員会→三役・事務局 桜沢・森田・田和・東ヶ崎・菊地・坂崎 伊東・

※各委員会アドバイザー各位→坂崎より その他 例えば渡辺、遠藤浩正、田口、土山等  
各先生等にも依頼する予定です。

検討委員会 日時 令和 2 年 11 月に計画しています。日時未定

※坂崎よりアドバイザーその他の方に文章を送付してご意見を賜ります。

次回臨時 News 第 12 号で詳しく発表します。

## 今回の情報提供 ☆2020年 令和2年度定例会等 10月事業予定

◆第67回定例会 日時 令和2年10月20日(火) 13:00-15:00

講師: 厚生労働省社会・援護局福祉基盤課企画調整専門官 初鹿 知香様 講演名「社会福祉連携推進法人を考える」

◆第68回定例会 日時 令和2年12月1日(火) 13:00-15:00

講師:神戸大学・大学院准教授 北野幸子先生 講演名「評価を活用した保育の質の維持・向上」

P1 67.68zoom オンライン定例会のご案内

P2-5 三役会&役員 zoom 会議内容の報告

P6 7 プロポジションについて

P8-9 『保総研の歴史 No.11』今さらながら どうして

東京成田さんと茨城が生んだ低音の魅力なベさんという人(ここは坂崎の勝手な思いを書いています。ご勘弁を)

P9 編集誤記ご意見お待ちしております

&当会 HP アドレス <http://hosouken.dip.jp/hskblog/>

◆次回No.12 を 11/4 広報配布する予定です。役員会による重要な決定事項を報告します。

## 『保総研の歴史 No.11』今さらながら どうして 東京成田さんと茨城が生んだ低音の魅力なべさんという人

保総研の創設の功労者は、なんといっても東京の成田先生だ。平成の最初、栞沢先生は日保全国青年部保育研究委員会の委員長だった。その委員会に、成田先生も田和先生も又私もいたのだ。その当時から今でいう食育には一家言の方だった。それから10年後に保総研を立ち上げることになり、その東京の打ち合わせ場所は成田先生の自宅だった。成田先生の面倒見の良さが今の保総研を作った。たぶん、成田先生にしてみれば、何のことかわからないまま(まあ多くのメンバー

Japan

Association of 連合(すること)

Multidisciplinary Research for

多くの学問領域にわたる 研究

Early Childhood Care and

Education

も同様だが)場所を貸しているうちに、メンバーの一人になっていた。まあ面倒見がよくなければ、あの園の前の駐車場は買えない。(わかる人だけわかる)という訳で成田先生は本当に感謝しても、しきれないほどの大恩人の一人である。現在、保総研で甥も姪も活躍しているが、こんないきさつを考えると、二人とも会の中心になって歴史を作り上げてもらいたいと坂崎は強く願っているのである。

青木は立派だが、上原見てるかな(・・?なんとか頼むよ

さて茨城のなべさんの話も書いておこう。渡辺先生の凄さはそのバランスの良さだが、歴史的に見ればなべさんの果たしている役割は本当に大きい。なべさんがいなければ、日保の青年部のまとまりや難局もなかなかうまくいかなかっただろうし、又、茨城のめんどうな状態も、なべさんの為せる業で乗り切っている。問題はここからだと私は思っている。文面に書くことではないが、(盟友高橋の支援は当然なので割愛)人には星のめぐり逢いがあって、必ず面倒な局面がある。私で言うとその難しい局面の入口には残念ながら東ヶ崎がいて(本人も重々承知だが、こども保育政治連盟や認定こども



も園の政治連盟の副会長なんかはこれにあたってしまう)、たぶんこれから来る本当の難しい局面には、年齢には関係なくなべさんや東口、私の予想では土山や浩正が当たってしまうと考える。これを読んでいるなべさんは、あの低音で「そんなことにならぬぞ」と押し殺してつぶやいているはずだが、歴史は繰り返すのだ。藤崎も読んでくれているかな。藤崎には是非ともなべさんの後方支援を頼みたい。もう少し言うともっと藤崎には活躍してもらいたい。少し真面目なことを書くと、間違いなくこの10年間は大きな節目になる。勝負所はなべさんの登場と相成ると信じている。紛れもなく茨城は水戸藩なのだが、当人が嫌でも水戸光圀公位にはならんとな。という訳で新潟同様に南東北という勝手なご縁もあるので、なべさんの活躍の場はこれから更に続く。ちなみに最近、健康に気を付けて益々の活躍を更に期待したいと電話でハッキリと申し上げておいた。

#### 編集誤記

思いが未来を変える。保総研が未来を作る。(選挙のキャッチフレーズみたいだな)

当会員の青森県、原本氏が49歳で急逝した。今、何を書いたらよいか、まとまらない。

次回には是非とも近況を知らせたい。コロナに苦戦している毎日ながら、来る新体制でも次を見据え進めていけたらと思います。Zoom研修で会員の元気な皆様にお会いできることを楽しみにしています。

この広報に対する内容については下記に電話等でご連絡を頂けると有難いです。

担当:〒039-4222 青森県下北郡東通村砂子又大字沢内 9-35  
保育総合研究会 副会長 坂崎隆浩 携帯:090-6252-3699

メール:[kodomoen.sakazaki@angel.ocn.ne.jp](mailto:kodomoen.sakazaki@angel.ocn.ne.jp)  
(こども園ひがしどおり FAX: 0175-31-0203)